

開催協議会名	令和5年第3回 浜田警察署協議会		
開催日時	令和5年9月19日（火）午後1時30分から午後3時15分まで		
	協議会委員	6人（今田会長、岩永副会長、小笠原委員、鎌田委員、串崎委員、江木委員）	
	警察署	6人（署長、副署長、総務・生安・地域・交通課長）	
会議・協議	署長からの 諮問等	報告事項	自転車用ヘルメット着用促進策について
		説明概要	前回の諮問を受け、委員からの意見を踏まえての取組・効果について、総務課長が説明するとともに、委員からの更なる意見を求めた。
		答申(意見等)	<p>1 中学では、学校の指導で通学時の着用を義務付けているが、高校は校則もなく、着用しなくなる。学校に伝えるいい方法はないものかとの意見があり、今後も、学校への働きかけを継続する旨の回答をした。</p> <p>2 委員からは、</p> <p>(1) 学校での交通安全教室を親子で見ることができれば、家庭でも話をするし、交通事故の怖さや頭を守ることの大切さの意識が高まるのではないか。</p> <p>(2) 幼稚園で指導をすることにより、親も一緒に着用する意識が高まり、幼稚園の送迎で、自転車用ヘルメットの着用が定着してくれればいいと思っている。</p> <p>(3) P T A 連合会等の場の設定や着用に向け地域を使うことも必要ではないか。</p> <p>(4) ヘルメットは進化している。軽量で、安全性も高く、見た目がカラフルなヘルメットもあることから、珍しいヘルメットとかファッションショーでもあれば、ヘルメットの着用が広まるのではないか。</p> <p>等の意見があった。</p>
		諮問事項	特殊詐欺被害防止における当事者意識の涵養について
		説明概要	生安課長において、特殊詐欺被害者に対するアンケート結果等 ^{かん} を示し、「住民の当事者意識の涵養」に重点を置いて、今後の特殊詐欺被害防止対策の在り方について諮問した。
		答申(意見等)	1 自分は大丈夫だと思っている人に詐欺だと認識させることは難しいと思う。

		<p>2 近くに相談できる人がいないとだまされることがあるかもしれない。家族でコミュニケーションを取ることも必要であると感じている。</p> <p>3 インパクトのあるキーワードで興味を引く広報活動を行うと効果が上がると思う。</p> <p>4 浜田市のインスタは比較的見るかもしれないので、便乗させてもらって伝える方法はあるかもしれない。</p> <p>【署回答】</p> <p>新たに公式アカウントを作ると使用料がかかる。予算面を含め検討が必要である。</p> <p>5 郊外の地区では、常会等の場でも話題になる。今後も、地域のつながりを大切にしていきたい（地域づくりは、まず集落から）。</p>
<p>委員からの意見・提言</p>		<p>1 歩道橋の改修工事計画があるが進展がない。学生たちの通学路になることから心配である旨の意見があり、危ない状況があれば、道路管理者等に伝える旨を説明した。</p> <p>2 小学校の統廃合に伴い、遠方から通学する子供の登下校が慣れるまでが心配である旨の意見があり、通学路点検等で危険箇所を把握し、交通・生安課等で連携して対策を進めていきたいと説明した。</p> <p>3 規制標識の汚れ及び劣化等により見えにくい標識の更新について、どこに問い合わせをすればよいかとの質疑があり、まずは最寄りの交番・駐在所に相談してもらうことと、相談を受けたら、地域課、交通課員が標識・標示について現地確認を行い、補修が必要なものは、警察本部に補修の上申を行う旨を説明した。</p> <p>4 重点路線等の速度取締りについて、交通事故防止の観点から必要だとは思いますが、パトカーや白バイの往来でドライバーへの注意喚起につながるのではないかとの意見があり、限られた人員の中で、より効果的な事故防止に繋がる取組を推進するため、姿を見せる街頭活動と姿を見せない交通指導取締りを実施していく旨を回答した。</p> <p>5 雨の日の朝、送迎の保護者の車で混雑する場所のパトロール強化について意見があり、警察としても関心を持ち、引き続きパトロール等の「見せる活動」を行ってほしい旨を回答した。</p>

写

真



【会長挨拶】



【署長挨拶】



【意見交換】